

糸島市農力を育む基本計画(案)に対するパブリックコメントの実施結果

1 パブリックコメントの実施概要

(1) 意見等募集期間	令和3年6月16日(水曜日)から令和3年7月15日(木曜日)まで
(2) 計画(案)の公表場所	校区コミュニティセンター15か所、市役所情報公開コーナー、市役所農業振興課、市ホームページ
(3) 意見書提出先	公表場所に設置した意見回収箱に投函、郵送、電子メール、FAX
(4) 意見書提出状況	提出者数2人、意見数9件

2 提出された意見等の概要と意見等に対する考え方

ページ	意見等の概要	意見等に対する考え方
6	【関係機関・組織】に「糸島農業高等学校」を追加	→「糸島農業高等学校」を記載します。
8	2 気候・風土 「羅漢川をはじめとする～」 羅漢川は準用河川であり(他の表示は県営河川である)一貴山川か加茂川、福吉川のいずれかに訂正した方がいい。	→河川に関して次のとおり修正します。 ～峰々が連なっています。本市の河川は、前原地域については、二級河川瑞梅寺川水系、雷山川水系を主幹線とし二級河川長野川、準用河川多久川、浦志川などの支流が流入し北に流下しています。二丈地域は、二級河川一貴山川水系、加茂川水系、福吉川水系があり、志摩地域は、二級河川桜井川水系、初川水系(雷山川水系)があります。
23	「特に、農村の大半を占める「田」は、雨水を溜めて洪水を防止し、水源かん養の役割を果たすほか～」 →総括に「防災へ備える「水田ダム」の機能を持たせる」と追加する。	【総括】には前期計画における指標に関する取組などを記載することとしております。 機能を持たせることについては、【現状と課題】に記載しています。 →計画(案)は、現行のとおりとします。

29	<p>「～高齢化が進んでいます。」</p> <p>新規就農者育成 →教育関係、特に糸島農業高等学校、福岡県農業大学校との連携が必要である。</p> <p>今までの枠にとらわれず、教育機関との連携によって高校生等の意見も聞き、後継者育成をしていく。</p> <p>行政の施策を若年者が農業に関心を持てるように、行政と教育機関が連携して後継者育成を効率よく行う。</p>	<p>新規就農の支援については、31 ページに掲載し、取組の方向性・主な取組の両方に「関係機関と連携」する旨を記載しています。</p> <p>具体的な取組内容については、各関係機関と協議を行い検討することとします。</p> <p>→計画（案）は、現行のとおりとします。</p>
29	<p>スマート農業の基地局が他市町に先駆けて糸島は設置している。</p> <p>しかし、農家・法人の対応はできていない。説明会、実演会等を一箇所だけでなく、校区単位で実施すること。特に土地利用型農業の担い手は極端に少ない。これの対応をすべき。</p>	<p>具体的な取組内容・実施方法などについては、状況に応じて検討することとします。</p> <p>→計画（案）は、現行のとおりとします。</p>
29	<p>土地利用型への対応は、基盤の整備（大区画ほ場）が望ましい。以前の県営ほ場整備では対応できかねる。</p> <p>そのためには、ほ場の大区画に向けた再整備を実施すること。糸島では、この大区画で対応できるのは、深江地区のみではないか。（効率性の意味から）</p>	<p>36 ページ施策（2）優良農地の保全②取組の方向性として「計画的にほ場整備を進め、合理化・効率化作業による高収益化に取り組む」旨を記載しています。</p> <p>大区画化については、状況に応じて検討することとします。</p> <p>→計画（案）は、現行のとおりとします。</p>
34	<p>「～農地や用排水施設等の維持～」</p> <p>→水田の畦畔の高さを高め、貯水能力を高めるための圃場の整備や水口の整備によって、大雨の場合も保水能力が高まり河川の決壊を防止する。国庫事業を有効に活用して、農家に協力を得る。</p> <p>豪雨が各地で起こっている現状で「水田ダム」の考え方を再度、見直すことで、防災に活かす。</p>	<p>水田は一時的な貯留機能を持っています。</p> <p>②取組の方向性に「多面的機能を保全します。」と記載しています。機能向上を目的とした「水田ダム」については、状況に応じて検討することとします。</p> <p>→計画（案）は、現行のとおりとします。</p>

42	<p>特産品づくり</p> <p>→糸島農業高等学校と連携して、若い、新しい発想で糸島の特産品の開発を行う。</p> <p>授業でも、いろいろな取り組みを行っており、予算的措置(材料費)によって開発が大きく進む可能性がある。</p> <p>さらに、特産品を「ふるさと納税」の返礼品として扱うことでさらに、実効性が高まる。</p>	<p>54 ページに産・学・官の連携として「大学等や糸島農業高等学校が持つ得意な分野を生かして課題の解決に取り組み必要」があり、取組の方向性として「地域農業の課題の解決に向けた実効性ある活動を推進」する旨を記載しています。</p> <p>具体的な取組内容・実施方法などについては、各関係機関と協議を行い検討することとします。</p> <p>→計画(案)は、現行のとおりとします。</p>
	<p>用語の中で解説されているが、その解説文が理解できない。計画書本文に具体化して記入した方がいいのではないか。</p>	<p>→次のとおり用語集の一部文言を追加・修正します。(下線部)</p>
67	<p>SDG s (持続可能な開発目標)</p> <p>(修正前)</p> <p>平成 13 年 (2001 年) に策定されたミレニアム開発目標 (MDG s) の後継として、平成 27 年 (2015 年) 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された令和 12 年 (2030 年) までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。SDG s は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本も積極的に取り組んでいる。</p>	<p>(修正後)</p> <p>平成 13 年 (2001 年) に策定されたミレニアム開発目標 (MDG s) の後継として、平成 27 年 (2015 年) 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された平成 28 年 (2016 年) から令和 12 年 (2030 年) までの国際開発目標。持続可能でよりよい世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。SDG s は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本も積極的に取り組んでいる。</p>
68	<p>SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)</p> <p>(修正前)</p> <p>インターネット上の交流をとおして社会的なネットワーク (ソーシャル・ネットワーク) を構築するサービス (フェイスブック、ラインなど) のこと。</p>	<p>(修正後)</p> <p>インターネット上で登録された利用者同士で交流できる社会的なネットワーク (ソーシャル・ネットワーク) を構築するサービス (フェイスブック、ラインなど) のこと。</p>

74	<p>ドリームトレーサー (修正前) 自然活動体験を中心とした青少年育成講座。</p>	<p>(修正後) <u>キャンプや山登りなどの様々な体験活動を通して地域のリーダーを、ひいては将来のまちづくりの核となる人材を育成する事業。市内の小学4～6年生が対象。</u></p>
76	<p>半農半X (修正前) 農業(自営)・農外の所得の組合せにより、じゅうぶんな所得を確保する世帯。</p>	<p>(修正後) 農業(自営)・農業以外の所得の組合せにより、じゅうぶんな所得を確保する世帯。<u>「半X」にあたる部分は、自分の好きなこと・やりがいのある仕事など人によって異なる。</u></p>